

注3

大学番号：私048

[平成30年度設置]

計画の区分： 学部^{注1}の設置

注1

届出

聖学院大学 心理福祉学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人聖学院
平成30年5月1日現在

作成担当者

大学事務局学長室

ナルセ トモ
成瀬 知

電話番号 048-781-0925

(夜間) 048-781-0925

F A X 048-726-2962

e-mail genaffairs@seigakuin-univ.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

心理福祉学部

＜心理福祉学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	18
6. 留意事項等に対する履行状況等	28
7. その他全般的事項	30

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人聖学院

(2) 大 学 名 聖学院大学

(3) 大学の位置

〒362-8585
埼玉県上尾市戸崎1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(シミズ マサユキ) 清水 正之 (平成28年4月)		
学 長	(シミズ マサユキ) 清水 正之 (平成27年4月)		
学 部 長	(コヤノ ワタル) 古谷野 亘 (平成30年4月)		
学科長等	(ナカタニ シゲカズ) 中谷 茂一 (平成30年4月)	(タムラ アヤコ) 田村 綾子 (平成30年4月)	選任のため変更。 変更年月日：平成30年4月1日(30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
心理福祉学部 心理福祉学科 学士(心理福祉学)	文学関係 社会学・社会福祉学関係	4年	120人	3年次 20人	520人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	120人 (-) [若干名]	-人 (-) []	120人 (-) []	-人 (-) []	120人 (20) []	-人 (-) []	120人 (20) []	-人 (-) []	1.09倍	
志願者数	264 (-) [34]	- (-) []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	259 (-) [33]	- (-) []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	227 (-) [20]	- (-) []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	131 (-) [18]	- (-) []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.09									

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	131 [18] (-)	[-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2 年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3 年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4 年次					/		[] ()	[] ()	
計							[] ()	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数	
平成30年度	131 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成33年度	人	人	
合 計	131 人	0 人				

(注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{131} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{} \%$$

【平成33年度】

$$\frac{\text{平成33年度の退学者数(a)}}{\text{平成33年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<心理福祉学部 心理福祉学科>

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	キリスト教概論A	1前	2						1		兼1
	キリスト教概論B	1後	2						1		兼1
英語科目	ECA(Speaking) I	1前・後	2								兼3
	ECA(英語基礎表現)	1前・後	1								兼4
	ECA(Reading) I	1前・後	1								兼4
	ECA(Speaking) II	1前		2							兼1
	ECA(Reading) II	1前		1							兼1
	ECA(Cinema) I	1前・後		1							兼2
	ECA(Cinema) II	1前・後		1							兼2
	ECA(Cinema) III	2前		1							兼1
	ECA(Culture)	2前・後		1							兼2
	ECA(English through Songs)A	1前		1							兼1
	ECA(English through Songs)B	1後		1							兼2
	ECA(Pleasure Reading)A	1前		1							兼1
	ECA(Pleasure Reading)B	1後		1							兼1
	ECA(Business)	2前・後		1							兼2
	ECA(English for Omotenashi)	1前・後		1							兼1
	ECA(Travel English)	1前・後		1							兼3
	ECA(Basic TOEIC)A	1前		1							兼1
	ECA(Basic TOEIC)B	1後		1							兼1
	ECA(Basic Grammar)	1前		1							兼1
	ECA(やり直しの発音)	1前・後		1							兼1
	ECA(Global Understanding)	1前・後		1							兼1
第二外国語 I	ドイツ語 I	1前・後		2							兼2
	ドイツ語 II	1後		2							兼1
	フランス語 I	1前・後		2							兼3
	フランス語 II	1後		2							兼1
	スペイン語 I	1前・後		2							兼2
	スペイン語 II	1前・後		2							兼1
	イタリア語 I	1前・後		2							兼1
	イタリア語 II	1後		2							兼1
	中国語 I	1前・後		2							兼3
	中国語 II	1前・後		2							兼2
	韓国語 I	1前・後		2							兼2
	韓国語 II	1前・後		2							兼1
第二外国語 II (留学生科目)	日本語1(基礎文法)A	1前		1							兼2
	日本語1(基礎文法)B	1後		1							兼2
	日本語1(表現文型)A	1前		1							兼2
	日本語1(表現文型)B	1後		1							兼2
	日本語1(総合)A	1前		1							兼2
	日本語1(総合)B	1後		1							兼2
	日本語1(調査・発表)A	1前		1							兼2
	日本語1(調査・発表)B	1後		1							兼2
	日本語1(文章表現)A	1前		1							兼2
	日本語1(文章表現)B	1後		1							兼2
	日本語2(文法)A	1前		1							兼2
	日本語2(文法)B	1後		1							兼2
	日本語2(総合)A	1前		1							兼2
	日本語2(総合)B	1後		1							兼2
	日本語2(調査・発表)A	1前		1							兼2
	日本語2(調査・発表)B	1後		1							兼2

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	キリスト教概論A	1前	2								兼1
	キリスト教概論B	1後	2							1	兼1
英語科目	日本国憲法	1前・後		2							兼3
	アカデミックライティング	1後		1							兼1
	Special Lecture Series	2後		2							兼1
	ECA(Speaking) I	1前・後	2								兼5
	ECA(英語基礎表現)	1前・後	1								兼4
	ECA(Reading) I	1前・後	1								兼4
	ECA(Speaking) II	1前・後		2							兼2
	ECA(Reading) II	1前・後		1							兼1
	ECA(Cinema)A	1前・後		1							兼2
	ECA(Cinema)B	1前・後		1							兼2
	ECA(Culture)	2前・後		1							兼2
	ECA(English through Songs)A	1前		1							兼2
	ECA(English through Songs)B	1後		1							兼2
	ECA(Pleasure Reading)A	1前		1							兼1
	ECA(Pleasure Reading)B	1後		1							兼1
	ECA(Business)	2前・後		1							兼1
	ECA(English for Omotenashi)	1前・後		1							兼1
	ECA(Travel English)	1前・後		1							兼4
	ECA(Basic TOEIC)A	1前・後		1							兼2
	ECA(Basic TOEIC)B	1後		1							兼2
	ECA(Basic Grammar)	1前・後		1							兼2
第二外国語 I	ECA(やり直しの発音)	1前・後		1							兼1
	ECA(Global Understanding)	1前・後		1							兼2
	ECA(留学生のための英語)	1前・後		1							兼1
	ECA(Advanced English)	1休		4							兼1
	ドイツ語 I	1前・後		2							兼2
	ドイツ語 II	1後		2							兼1
	フランス語 I	1前・後		2							兼3
	フランス語 II	1後		2							兼1
	スペイン語 I	1前・後		2							兼2
	スペイン語 II	1前・後		2							兼1
	イタリア語 I	1前・後		2							兼1
	イタリア語 II	1後		2							兼1
第二外国語 II (留学生科目)	中国語 I	1前・後		2							兼3
	中国語 II	1前・後		2							兼2
	韓国語 I	1前・後		2							兼2
	韓国語 II	1前・後		2							兼1
	日本語1(文法)	1前		1							兼2
	日本語2(文章表現)B	1前・後		1							兼6
	日本語2(試験対策)A	1前・後		1							兼3
	日本語2(試験対策)B	1前・後		1							兼3
	日本語2(文字語彙)A	1前・後		1							兼3
	日本語2(文字語彙)B	1前・後		1							兼5
	日本語1(口頭表現)	1前		1							兼3
	日本語2(口頭表現)	1前・後		1							兼5
	日本語2(文章表現)A	1前・後		1							兼5
	日本語2(日本語ICT)	1前・後		1							兼3
	日本語3(文字語彙)B	1前・後		1							兼2
	日本語4(文字語彙)A	1後		1							兼2
	日本語3(文字語彙)A	1前・後		1							兼2
	日本語4(文字語彙)B	1後		1							兼2
	日本語3(口頭表現)	1前・後		1							兼2
	日本語4(口頭表現)	1後		1							兼2

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
第二外国語Ⅱ（留学生科目）		日本語2(文章表現)A	1前		1							兼2	
		日本語2(文章表現)B	1後		1							兼2	
		日本語2(音声表現理解)A	1前		1							兼2	
		日本語2(音声表現理解)B	1後		1							兼2	
		日本語3(調査・発表)A	1前		1							兼1	
		日本語3(調査・発表)B	1後		1							兼1	
		日本語3(ビジネス日本語)A	1前		1							兼1	
		日本語3(ビジネス日本語)B	1後		1							兼1	
		日本語3(小説で学ぶ)	1後		1							兼1	
		日本語3(ニュースで学ぶ)	1前		1							兼1	
		日本語3(ドラマで学ぶ)	1後		1							兼1	
		日本語3(創作で学ぶ)	1前		1							兼1	
スポーツ科目		健康・体力づくり実習A	1前		1							兼5	
		健康・体力づくり実習B	1後		1							兼5	
		生涯スポーツ実習A	1前		1		1					兼7	
		生涯スポーツ実習B	1後		1		1					兼7	
基礎科目群	キリスト教関連科目	聖書の世界A	2前		2							兼1	
		聖書の世界B	2後		2							兼1	
		イングリッシュ・バイブルA	2後		2							兼1	
		イングリッシュ・バイブルB	2後		2							兼1	
		キリスト教と歴史形成A	2前		2							兼1	
		キリスト教と歴史形成B	2後		2							兼1	
		キリスト教思想史A	2前		2							兼1	
		キリスト教思想史B	2後		2							兼1	
		キリスト教と国際社会A	2前		2							兼1	
		キリスト教と国際社会B	2後		2							兼1	
		キリスト教と日本社会A	2前		2							兼1	
		キリスト教と日本社会B	2後		2							兼1	
		キリスト教とアジア文化A	2前		2							兼1	
		キリスト教とアジア文化B	2後		2							兼1	
		キリスト教と自然科学A	2前		2							兼1	
		キリスト教と自然科学B	2後		2							兼1	
		キリスト教と音楽A	2前		2							兼1	
		キリスト教と音楽B	2後		2							兼1	
		キリスト教音楽史A	2前		2							兼1	
		キリスト教音楽史B	2後		2							兼1	
		キリスト教と美術A	2前		2							兼1	
		キリスト教と美術B	2後		2							兼1	
		キリスト教と福祉活動の実際A	2前		2							兼1	
		キリスト教と福祉活動の実際B	2後		2							兼1	
		キリスト教カウンセリング論	2後		2		1						兼1
		キリスト教と心のケア	2前		2		1						
キャリア教育科目		時事問題演習	1前		1							兼2	
		図表理解	1後		1							兼2	
		キャリアデザインA	2前		1							兼1	
		キャリアデザインB	2後		1							兼1	
		ビジネス・ライティング	2後		1							兼1	
		ビジネス・コミュニケーション	2後		1							兼1	
		ビジネス・プレゼンテーション	2後		1							兼1	
		業界・企業研究	3前・後		1							兼2	
		インターンシップⅠ(事前学習)	2後・3前		2							兼2	
		インターンシップⅡ(実習)	3休		2							兼2	
		海外インターンシップA	1休		4						兼1		
		海外インターンシップB	1休		4						兼1		

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
第二外国語Ⅱ（留学生科目）		日本語3(文章表現)	1前・後		1							兼2		
		日本語4(文章表現)	1後		1							兼2		
		日本語3(試験対策)	1前・後		1							兼2		
		日本語4(試験対策)	1後		1							兼2		
		日本語1(文字語彙)A	1前	2								兼2		
		日本語1(文字語彙)B	1前	2								兼3		
		日本語1(総合)A	1前	2								兼3		
		日本語1(総合)B	1前	2								兼3		
		日本語1(文章表現)	1前	2								兼3		
		日本語1(応用漢字)	1前	1								兼3		
		日本語1(アカデミックスキル)	1前	1								兼3		
		日本語1A	1後	1								兼1		
		日本語1B	1後	1								兼1		
スポーツ科目		健康・体力づくり実習A	1前		1							兼5		
		健康・体力づくり実習B	1後		1							兼5		
		生涯スポーツ実習A	1前		1							兼5		
		生涯スポーツ実習B	1後		1							兼5		
基礎科目群	キリスト教関連科目	聖書の世界A	2前		2							兼1		
		聖書の世界B	2後		2							兼1		
		イングリッシュ・バイブルA	2前		2							兼1		
		イングリッシュ・バイブルB	2後		2							兼1		
		キリスト教と歴史形成A	2前		2							兼1		
		キリスト教と歴史形成B	2後		2							兼1		
		キリスト教思想史A	2前		2							兼1		
		キリスト教思想史B	2後		2							兼1		
		キリスト教と国際社会A	2前		2							兼1		
		キリスト教と国際社会B	2後		2							兼1		
		キリスト教と日本社会A	2前		2							兼1		
		キリスト教と日本社会B	2後		2							兼1		
		キリスト教とアメリカ文化A	2前	2								兼1		
		キリスト教とアメリカ文化B	2後	2								兼1		
		キリスト教とアジア文化A	2前		2							兼1		
		キリスト教とアジア文化B	2後		2							兼1		
		キリスト教と自然科学A	2前		2							兼1		
		キリスト教と自然科学B	2後		2							兼1		
		キリスト教と音楽A	2前		2							兼1		
		キリスト教と音楽B	2後		2							兼1		
		キリスト教音楽史A	2前		2							兼1		
		キリスト教音楽史B	2後		2							兼1		
		キリスト教と美術A	2前		2							兼1		
		キリスト教と美術B	2後		2							兼1		
		キリスト教と福祉活動の実際A	2前		2							兼1		
		キリスト教と福祉活動の実際B	2後		2							兼1		
		キリスト教カウンセリング論	2後		2		1					兼1		
		キリスト教と心のケア	2前		2		1					兼1		
		キャリア教育科目		時事問題演習	1前		1							兼2
				図表理解	1後		1							兼2
				キャリアデザインA	2前		1							兼1
				キャリアデザインB	2後		1							兼1
ビジネス・ライティング	2後				1							兼1		
ビジネス・コミュニケーション	2後				1							兼1		
ビジネス・プレゼンテーション	2後				1							兼1		
業界・企業研究	3前・後				1							兼2		
インターンシップⅠ(事前学習)	2後・3前				2							兼2		
インターンシップⅡ(実習)	3休				2							兼2		
インターンシップⅡ(留学生)	3休				2							兼1		
海外インターンシップA	1休				4							兼1		
海外インターンシップB	1休		4							兼1				

科目 区分	授業科目の名称		配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基礎 科目 目 群	キャリア教育科目	海外インターンシップC	1休		2							兼1	
		海外インターンシップD	1休		1							兼1	
		ビジネス日本語対策講座A	3前		1							兼1	
		ビジネス日本語対策講座B	3後		1							兼1	
	その他	日本国憲法	1前・後		2								兼3
		Special Lecture Series	2後		2								兼1
		地元学	1前		2								兼2
		宮原地域学	1前		2								兼1
		金石学	1前		2								兼2
		コミュニティサービスラーニングⅠ	2前		2								兼1
		コミュニティサービスラーニングⅡ	2後		2								兼1
		被災地支援・インターンシップA	1休		4								兼1
		被災地支援・インターンシップB	1休		2								兼1
		被災地支援・インターンシップC	1休		1								兼1
		アメリカ文化演習A	1休		4								兼1
		アメリカ文化演習B	1休		2								兼1
		オーストラリア文化演習	1休		4								兼1
		カナダ文化演習	1休		4								兼1
		教養 科目 目 群	人間理解への基盤を学ぶ	哲学	1前・後		4						
欧米文学	1前・後				4								兼1
言語学	1前・後				4								兼1
文学	1前・後				4								兼2
文化学	1前				4								兼1
演劇形式とその音楽	1後				4								兼1
絵本文化	1前				4								兼1
西洋史	1前・後				4								兼2
日本史	1後				4								兼1
異文化間コミュニケーション	1前				4								兼1
社会理解への基盤を学ぶ	政治学		1前・後		4								兼3
	経済学		1前・後		4								兼3
	法学		1前・後		4								兼2
	情報と社会		1後		4								兼1
自然理解への基盤を学ぶ	環境学		1前		4								兼1
	民俗環境論		1前・後		4								兼1
	職業人生と健康		1前		4								兼1
	教養としての数学	1前		4								兼1	
専門 科目 目 群	共通基礎科目	共生社会総論	1前	4			6	3	1	2			
		キリスト教人間学A	3前	2						1			
		キリスト教人間学B	3後	2							1		
		情報社会の基礎理論	1後	2								兼1	
		人体の構造と機能及び疾病	1休		2							兼1	
		ヘルス・プロモーション	1後		2		1						
		健康と社会	2前		2		1						
		公衆衛生学	2前		2							兼1	
		精神保健学	2前		4							兼1	
		精神医学	2後		4							兼1	
		保健医療サービス	2前		2							兼1	
		社会学	1前		4							兼1	
		家族社会学	1後		4							兼1	
		こども学	2前		2		1						
		社会老年学	2前		2		1						
		社会保障論	2前		4							兼1	
		権利擁護と成年後見制度	3前		2							兼1	
		社会調査の基礎	1後		2							兼1	
		ボランティア概論	1後		2							兼1	
		ボランティア実践論	2前		2							兼1	

科目 区分	授業科目の名称		配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
基礎 科目 群	キャリア 教育 科目	海外インターンシップC	1休		2								兼1	
		海外インターンシップD	1休		1								兼1	
		ビジネス日本語対策講座A	3前		1								兼1	
		ビジネス日本語対策講座B	3後		1								兼1	
	地域 学													
		地元学	1後		2									兼2
		宮原地域学	1前		2									兼1
		釜石学	1前		2									兼3
	サー ビス ラー ニング	コミュニティサービスマーケティングⅠ	2前		2									兼1
		コミュニティサービスマーケティングⅡ	2休		2									兼1
		ボランティア体験の芸術化技法と実践	1前		2									兼1
		被災地支援・インターンシップA	1休		4									兼1
	海外 研修	被災地支援・インターンシップB	1休		2									兼1
		被災地支援・インターンシップC	1休		1									兼1
		アメリカ文化演習A	1休		4									兼1
		アメリカ文化演習B	1休		2									兼1
	教養 科目 群	人間 理解 への 基盤 を学 ぶ	オーストラリア文化演習	1休		4								兼1
			カナダ文化演習	1休		4								兼1
海外文化演習			1休		4								兼1	
哲学			1前・後		4									兼1
欧米文学			1前・後		4									兼1
言語学			1前・後		4									兼1
文学			1前・後		4									兼2
文化学			1前		4									兼1
絵本文化			1前		4									兼1
西洋史			1前・後		4									兼2
社会 理解 への 基盤 を学 ぶ		日本史	1後		4									兼1
		比較言語文化論	1前		4									兼1
		異文化間コミュニケーション	1前		4									兼1
		政治学	1前・後		4									兼3
		経済学	1前・後		4									兼3
		法学	1前・後		4									兼2
		子どもの諸問題と教育相談	1前・後		4									兼1
		情報と社会	1後		4									兼1
自然 理解 への 基盤 を学 ぶ	現代社会	1前・後		4									兼1	
	環境学	1前		4									兼1	
	民俗環境論	1後		4									兼1	
	職業人生と健康	1前		4									兼1	
	教養としての数学	1前		4									兼1	
	専門 科目 群	共通 基礎 科目	共生社会総論	1前	4			10			2			
キリスト教人間学A			3前	2						1				
キリスト教人間学B			3後	2						1				
情報社会の基礎理論			1後	2									兼1	
人体の構造と機能及び疾病			1休		2								兼1	
公衆衛生学			2前		2								兼1	
精神保健学			2前		4								兼1	
精神疾患とその治療			2後		4								兼1	
保健医療サービス			2後		2								兼1	
社会学			1前		4								兼1	
家族社会学			1後		4								兼1	
こども学			2後		2		1							
社会老年学			2前		2		1							
社会保障論			2前		4								兼1	
権利擁護と成年後見制度			3前		2								兼1	
社会調査の基礎			1後		2								兼1	
ボランティア概論			1後		2								兼1	
ボランティア実践論			2前		2								兼1	

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
専門 科目 群	心理 関 連 科 目	心理学概論	1前	4				1						
		心理学研究法Ⅰ	1後	2				1						
		心理学統計法	1後		2				1					
		認知心理学	2前		2									兼1
		神経心理学	2後		2									兼1
		行動分析学	2前	2			1							
		発達心理学概論	2後	2			1							
		児童心理学	2後	2			1							
		青年心理学	2後	2			1							
		生涯発達心理学	2後	2				1						
		教育心理学	2前	4										兼1
		社会心理学	1後	2				1						
		家族心理学	2後	2			1							
		コミュニティ心理学	2後	2				1						
		集団心理学	2後	2						1				
		対人関係論	2後	2				1						
		犯罪心理学	3後	2										兼1
		非行の心理	3前	2			1							
		健康心理学	2前	2			1							
		人格心理学	1後	2										兼1
		福祉心理学	3後	2				1						
		臨床心理学概論	2前	2			1							
		発達臨床心理学	3後	2			1							
		高齢者臨床心理学	2後	2			1							
	カウンセリング心理学	2後	2										兼1	
	心理療法学	3前	2			1								
	福 祉 関 連 科 目	現代社会と福祉	1後	4			1							
		相談援助の基盤と専門職Ⅰ	1後	2			1							
		相談援助の基盤と専門職Ⅱ	1後		2		1							
		社会福祉援助技術論A	2前		4		1							
		社会福祉援助技術論B	2後		4									兼1
		児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	2前		4		1							
		高齢者に対する支援と介護保険制度	2後		4					1				
		障害者に対する支援と障害者自立支援制度	2前		4									兼1
		低所得者に対する支援と生活保護制度	2後		2									兼1
		地域福祉の理論と方法	2前		4									兼1
医療福祉論		2前		2									兼1	
スクールソーシャルワーク論		2前		2									兼1	
就労支援サービス		3前		1									兼1	
更生保護制度		3休		1									兼1	
福祉行財政と福祉計画		2後		2									兼1	
社会福祉運営管理論		2休		2									兼1	
精神保健福祉に関する制度とサービス		2前		4		1								
精神障害者の生活支援システム		2後		2		1								
精神保健福祉援助技術総論		2前		2						1				
精神保健福祉援助技術各論	2後		4		1									
精神科リハビリテーション学A	2前		2		1									
精神科リハビリテーション学B	2後		2		1									
公 認 心 理 師	心理学研究法Ⅱ	2前		2				1						
	心理学基礎実験実習	2前		2				1	1					
	心理検査実習	2後		2		1	1							
	心理面接実習	3後		2		1			1					
	心理実践実習	4前		2		2	2							
	心理実践職能論	3後		2					1					

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門 科 目 群	心理 関 連 科 目	心理学概論	1前	4			1						
		心理学研究法	1前	2			1						兼1
		心理学統計法	1後		2								兼1
		知覚・認知心理学	1前		2								兼1
		神経・生理心理学	2後		2								兼1
		発達心理学	2後		2		1						
		児童心理学	2後		2		1						
		青年心理学	2後		2		1						
		教育・学校心理学	2前		4								兼1
		社会・集団・家族心理学	1後		2		1						兼1
		対人関係論	2後		2								兼1
		司法・犯罪心理学	3後		2								兼1
		健康・医療心理学	2前		2		1						
		感情・人格心理学	1後		2								兼1
		福祉心理学	3後		2		1						
		臨床心理学概論	2前		2		1						
		発達臨床心理学	3後		2		1						
		カウンセリング心理学	2後		2								兼1
		障害者・障害児心理学	2前		2		1						
		学習・言語心理学	1前		2								兼1
	福祉 関 連 科 目	現代社会と福祉	1後	4			1						
		相談援助の基盤と専門職Ⅰ	1後	2			1						
		相談援助の基盤と専門職Ⅱ	1後		2		1						
		社会福祉援助技術論A	2前		4		1						
		社会福祉援助技術論B	2後		4								兼1
		児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	2前		4		1						
		高齢者に対する支援と介護保険制度	2後		4					1			
		障害者に対する支援と障害者自立支援制度	2前		4				1				
		低所得者に対する支援と生活保護制度	2後		2								兼1
		地域福祉の理論と方法	2前		4								兼1
		医療福祉論	2前		2								兼1
		スクールソーシャルワーク論	2前		2								兼1
		就労支援サービス	3前		1								兼1
更生保護制度	3休		1								兼1		
福祉行財政と福祉計画	3後		2								兼1		
社会福祉運営管理論	3休		2								兼1		
公認 心 理 師	心理学統計法実践	1後		2								兼1	
	心理学実験	2前		2		1						兼1	
	心理的アセスメント	2後		2		2							
	心理学的支援法	3前		2		1							
	心理演習	3前		2		1							
	心理実習	3後		2		2							
	公認心理師の職責	2後		2		1							

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
社会福祉士	社会福祉士	社会福祉援助技術演習A	2後		1						2		兼1
		社会福祉援助技術演習B	3前		1						2		
		社会福祉援助技術演習C	3前		1						1		
		社会福祉援助技術演習D	4前		1						2		
		社会福祉援助技術演習E	4後		1						2		
		社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	3前		1						2		
		社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	3通		2						2		
		社会福祉援助技術現場実習	3後		6						2		
精神保健福祉士	精神保健福祉士	精神保健福祉援助演習(基礎)	2後		1		1						
		精神保健福祉援助演習(専門)A	3前		1		1						
		精神保健福祉援助演習(専門)B	4後		1		1						
		精神保健福祉援助実習指導A	3後		1		1						
		精神保健福祉援助実習指導B	4前		1		1						
		精神保健福祉援助実習指導C	4後		1		1						
		精神保健福祉援助実習	4前		6		2						
応用科目	応用科目	インディペンデントスタディA	1休		4		1						
		インディペンデントスタディB	1休		2		1						
専門科目群	演習科目	専門演習(社会老年学)Ⅰ	2後		1		1						
		専門演習(社会老年学)Ⅱ	3前		1		1						
		専門演習(社会心理学)Ⅰ	2後		1			1					
		専門演習(社会心理学)Ⅱ	3前		1			1					
		専門演習(家族心理学)Ⅰ	2後		1		1						
		専門演習(家族心理学)Ⅱ	3前		1		1						
		専門演習(臨床心理学)Ⅰ	2後		1		1						
		専門演習(臨床心理学)Ⅱ	3前		1		1						
		専門演習(集団心理学)Ⅰ	2後		1				1				
		専門演習(集団心理学)Ⅱ	3前		1				1				
		専門演習(ソーシャルワーク論)Ⅰ	2後		1		1						
		専門演習(ソーシャルワーク論)Ⅱ	3前		1		1						
		専門演習(子ども・家庭福祉論)Ⅰ	2後		1		1						
		専門演習(子ども・家庭福祉論)Ⅱ	3前		1		1						
		専門演習(高齢者福祉論)Ⅰ	2後		1						1		
		専門演習(高齢者福祉論)Ⅱ	3前		1						1		
		専門演習(精神保健福祉論)Ⅰ	2後		1		1						
		専門演習(精神保健福祉論)Ⅱ	3前		1		1						
		卒業研究(社会老年学)Ⅰ	3後		1		1						
		卒業研究(社会老年学)Ⅱ	4前		1		1						
		卒業研究(社会心理学)Ⅰ	3後		1				1				
		卒業研究(社会心理学)Ⅱ	4前		1				1				
		卒業研究(家族心理学)Ⅰ	3後		1		1						
		卒業研究(家族心理学)Ⅱ	4前		1		1						
		卒業研究(臨床心理学)Ⅰ	3後		1		1						
		卒業研究(臨床心理学)Ⅱ	4前		1		1						
		卒業研究(集団心理学)Ⅰ	3後		1					1			
		卒業研究(集団心理学)Ⅱ	4前		1					1			
		卒業研究(ソーシャルワーク論)Ⅰ	3後		1		1						
		卒業研究(ソーシャルワーク論)Ⅱ	4前		1		1						
		卒業研究(子ども・家庭福祉論)Ⅰ	3後		1		1						
		卒業研究(子ども・家庭福祉論)Ⅱ	4前		1		1						
		卒業研究(高齢者福祉論)Ⅰ	3後		1						1		
		卒業研究(高齢者福祉論)Ⅱ	4前		1						1		
卒業研究(精神保健福祉論)Ⅰ	3後		1		1								
卒業研究(精神保健福祉論)Ⅱ	4前		1		1								
卒業論文	4後		6		6	1	1	1					

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
社会福祉士		社会福祉援助技術演習A	2後		1					2		兼1
		社会福祉援助技術演習B	3前		1				2			
		社会福祉援助技術演習C	3前		1				2			
		社会福祉援助技術演習D	4前		1				1			
		社会福祉援助技術演習E	4後		1				2			
		社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	3前		1				2			
		社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	3通		2				2			
		社会福祉援助技術現場実習	3後		6				2			
精神保健福祉士		精神保健福祉援助演習(基礎)	2後		1		1					
		精神保健福祉援助演習(専門)A	3前		1		1					
		精神保健福祉援助演習(専門)B	4後		1		1					
		精神保健福祉援助実習指導A	3後		1		1					
		精神保健福祉援助実習指導B	4前		1		1					
		精神保健福祉援助実習指導C	4後		1		1					
		精神保健福祉援助実習	4前		6		2					
		応用科目		インディペンデントスタディA	1休		4		1			
インディペンデントスタディB	1休				2		1					
専門科目群		専門演習(社会老年学)Ⅰ	2後		1		1					
		専門演習(社会老年学)Ⅱ	3前		1		1					
		専門演習(社会心理学)Ⅰ	2後		1							
		専門演習(社会心理学)Ⅱ	3前		1							
		専門演習(家族心理学)Ⅰ	2後		1		1					
		専門演習(家族心理学)Ⅱ	3前		1		1					
		専門演習(臨床心理学)Ⅰ	2後		1		1					
		専門演習(臨床心理学)Ⅱ	3前		1		1					
		専門演習(集団心理学)Ⅰ	2後		1		1					
		専門演習(集団心理学)Ⅱ	3前		1		1					
		専門演習(ソーシャルワーク論)Ⅰ	2後		1		1					
		専門演習(ソーシャルワーク論)Ⅱ	3前		1		1					
		専門演習(子ども・家庭福祉論)Ⅰ	2後		1		1					
		専門演習(子ども・家庭福祉論)Ⅱ	3前		1		1					
		専門演習(高齢者福祉論)Ⅰ	2後		1					1		
		専門演習(高齢者福祉論)Ⅱ	3前		1					1		
		専門演習(精神保健福祉論)Ⅰ	2後		1		1					
		専門演習(精神保健福祉論)Ⅱ	3前		1		1					
		卒業研究(社会老年学)Ⅰ	3後		1		1					
		卒業研究(社会老年学)Ⅱ	4前		1		1					
		卒業研究(社会心理学)Ⅰ	3後		1							
		卒業研究(社会心理学)Ⅱ	4前		1							
		卒業研究(家族心理学)Ⅰ	3後		1		1					
		卒業研究(家族心理学)Ⅱ	4前		1		1					
		卒業研究(臨床心理学)Ⅰ	3後		1		1					
		卒業研究(臨床心理学)Ⅱ	4前		1		1					
		卒業研究(集団心理学)Ⅰ	3後		1		1					
		卒業研究(集団心理学)Ⅱ	4前		1		1					
		卒業研究(ソーシャルワーク論)Ⅰ	3後		1		1					
		卒業研究(ソーシャルワーク論)Ⅱ	4前		1		1					
		卒業研究(子ども・家庭福祉論)Ⅰ	3後		1		1					
		卒業研究(子ども・家庭福祉論)Ⅱ	4前		1		1					
		卒業研究(高齢者福祉論)Ⅰ	3後		1					1		
		卒業研究(高齢者福祉論)Ⅱ	4前		1					1		
		卒業研究(精神保健福祉論)Ⅰ	3後		1		1					
		卒業研究(精神保健福祉論)Ⅱ	4前		1		1					
卒業論文	4後		6		6	1	1	1				

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合科目群	総合科目	経済学研究	3前		2								兼1
		企業財務論研究	3後		2								兼3
		まちづくり論研究	3前		2								兼1
		地域文化論	3前		2								兼1
		欧米文化学特論	4前		2								兼1
		日本思想特論	4後		2								兼1
		日本文化学研究	4前		4								兼1
		アメリカ文化学研究A	4前		4								兼1
		ヨーロッパ文化学研究B	4後		4								兼2
		キリスト教文化学研究A	4前		4								兼1
		児童教育学特論	4前		4								兼1
		児童学特論	4後		4								兼1
		高齢者福祉特論	4前		4		1						
		児童福祉特論	4後		4		1						
		発達心理学特論	4前		4			1					

13 271

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼任・ 兼担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		

13 262

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ー②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

教育課程の見直しにより、「日本国憲法」の科目区分を「その他」から「基礎科目」に変更
教育課程の見直しにより、「アカデミックライティング」を新設
教育課程の見直しにより、「Special Lecture Series」の科目区分を「その他」から「基礎科目」に変更
入学定員超過によるクラス増設のため、「ECA(Speaking)Ⅰ」の教員等の配置を「兼3」から「兼5」に変更
履修者数増加によるクラス増設のため、「ECA(Speaking)Ⅱ」の配当年次を「1後」から「1前・後」に、教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更
入学定員超過によるクラス増設のため、「ECA(Reading)Ⅱ」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更
教育課程の見直しにより、「ECA(Cinema)Ⅰ」の科目名称を「ECA(Cinema)A」に変更
教育課程の見直しにより、「ECA(Cinema)Ⅱ」の科目名称を「ECA(Cinema)B」に変更
履修者数増加によるクラス増設のため、「ECA(English through Songs)A」の教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更
担当者のコマ数調整のため、「ECA(Business)」の教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更
履修者数増加によるクラス増設のため、「ECA(Travel English)」の教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更
履修者数増加によるクラス増設のため、「ECA(Basic TOEIC)A」の配当年次を「1前」から「1前・後」に、教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更
履修者数増加によるクラス増設のため、「ECA(Basic TOEIC)B」の教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更
履修者数増加によるクラス増設のため、「ECA(Basic Grammar)」の配当年次を「1前」から「1前・後」に、教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更
履修者数増加によるクラス増設のため、「ECA(Global Understanding)」の教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更
教育課程の見直しにより、「ECA(留学生のための英語)」を新設
教育課程の見直しにより、「ECA(Advanced English)」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1(基礎文法)A」の科目名称を「日本語1(文法)」に変更
教育課程の見直しにより、「日本語1(基礎文法)B」の科目名称を「日本語2(文章表現)B」に、配当年次を「1後」から「1前・後」に、カリキュラム充実による担当教員追加のため教員等の配置を「兼2」から「兼6」に変更
教育課程の見直しにより、「日本語1(表現文型)A」の科目名称を「日本語2(試験対策)A」に、配当年次を「1後」から「1前・後」に、カリキュラム充実による担当教員追加のため教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更
教育課程の見直しにより、「日本語1(表現文型)B」の科目名称を「日本語2(試験対策)B」に、配当年次を「1後」から「1前・後」に、カリキュラム充実による担当教員追加のため教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更
教育課程の見直しにより、「日本語1(総合)A」の科目名称を「日本語2(文字語彙)A」に、配当年次を「1後」から「1前・後」に、カリキュラム充実による担当教員追加のため教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更
教育課程の見直しにより、「日本語1(総合)B」の科目名称を「日本語2(文字語彙)B」に、配当年次を「1後」から「1前・後」に、カリキュラム充実による担当教員追加のため教員等の配置を「兼2」から「兼5」に変更
教育課程の見直しにより、「日本語1(調査・発表)A」の科目名称を「日本語1(口頭表現)」に、カリキュラム充実による担当教員追加のため教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更
教育課程の見直しにより、「日本語1(調査・発表)B」の科目名称を「日本語2(口頭表現)」に、配当年次を「1後」から「1前・後」に、カリキュラム充実による担当教員追加のため教員等の配置を「兼2」から「兼5」に変更
教育課程の見直しにより、「日本語1(文章表現)A」の科目名称を「日本語2(文章表現)A」に、配当年次を「1後」から「1前・後」に、カリキュラム充実による担当教員追加のため教員等の配置を「兼2」から「兼5」に変更
教育課程の見直しにより、「日本語1(文章表現)B」の科目名称を「日本語2(日本語ICT)」に、配当年次を「1後」から「1前・後」に、カリキュラム充実による担当教員追加のため教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更
教育課程の見直しにより、「日本語2(文法)A」の科目名称を「日本語3(文字語彙)B」に、配当年次を「1前」から「1前・後」に変更
教育課程の見直しにより、「日本語2(文法)B」の科目名称を「日本語4(文字語彙)A」に変更
教育課程の見直しにより、「日本語2(総合)A」の科目名称を「日本語3(文字語彙)A」に、配当年次を「1前」から「1前・後」に変更
教育課程の見直しにより、「日本語2(総合)B」の科目名称を「日本語4(文字語彙)B」に変更
教育課程の見直しにより、「日本語2(調査・発表)A」の科目名称を「日本語3(口頭表現)」に、配当年次を「1前」から「1前・後」に変更
教育課程の見直しにより、「日本語2(調査・発表)B」の科目名称を「日本語4(口頭表現)」に変更
教育課程の見直しにより、「日本語2(文章表現)A」の科目名称を「日本語3(文章表現)」に、配当年次を「1前」から「1前・後」に変更
教育課程の見直しにより、「日本語2(文章表現)B」の科目名称を「日本語4(文章表現)」に変更
教育課程の見直しにより、「日本語2(音声表現理解)A」の科目名称を「日本語3(試験対策)」に、配当年次を「1前」から「1前・後」に変更
教育課程の見直しにより、「日本語2(音声表現理解)B」の科目名称を「日本語4(試験対策)」に変更
教育課程の見直しにより、「日本語1(文字語彙)A」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1(文字語彙)B」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1(総合)A」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1(総合)B」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1(文章表現)」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1(応用漢字)」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1(アカデミックスキル)」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1A」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1B」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1C」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1D」を新設
教育課程の見直しにより、「アカデミックジャパニーズ」を新設
専任教員及び兼任講師退職により、「生涯スポーツ実習A」の教員等の配置を「教授1」「兼7」から「兼5」に変更
専任教員及び兼任講師退職により、「生涯スポーツ実習B」の教員等の配置を「教授1」「兼7」から「兼5」に変更
教育課程の見直しにより、「イングリッシュ・バイブルA」の開講期を「2後」から「2前」に変更
教育課程の見直しにより、「キリスト教とアメリカ文化A」を新設
教育課程の見直しにより、「キリスト教とアメリカ文化B」を新設
教育課程の見直しにより、「インターンシップⅡ(留学生)」を新設
教育課程の見直しにより、「日本国憲法」の科目区分を「その他」から「基礎科目」に変更
教育課程の見直しにより、「Special Lecture Series」の科目区分を「その他」から「基礎科目」に変更
教育課程の見直しにより、「地元学」の科目区分を「その他」から「地域学」に変更し開講期を「1前」から「1後」に変更
教育課程の見直しにより、「宮原地域学」の科目区分を「その他」から「地域学」に変更
教育課程の見直しにより、「釜石学」の科目区分を「その他」から「地域学」に変更
教育課程の充実のため、「釜石学」の教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更
教育課程の見直しにより、「コミュニティサービスラーニングⅠ」の科目区分を「その他」から「コミュニティサービスラーニング」に変更
教育課程の見直しにより、「コミュニティサービスラーニングⅡ」の科目区分を「その他」から「コミュニティサービスラーニング」に変更し、開講期を「2後」から「2休」に変更
教育課程の見直しにより、「被災地支援・インターンシップA」の科目区分を「その他」から「コミュニティサービスラーニング」に変更
教育課程の見直しにより、「被災地支援・インターンシップB」の科目区分を「その他」から「コミュニティサービスラーニング」に変更
教育課程の見直しにより、「被災地支援・インターンシップC」の科目区分を「その他」から「コミュニティサービスラーニング」に変更
教育課程の見直しにより、「ボランティア体験の言語化技法と実践」を新設
教育課程の見直しにより、「アメリカ文化演習A」の科目区分を「その他」から「海外研修」に変更
教育課程の見直しにより、「アメリカ文化演習B」の科目区分を「その他」から「海外研修」に変更
教育課程の見直しにより、「オーストラリア文化演習」の科目区分を「その他」から「海外研修」に変更

教育課程の見直しにより、「カナダ文化演習」の科目区分を「その他」から「海外研修」に変更
 教育課程の見直しにより、「海外文化演習」を新設
 教育課程の見直しにより、「比較言語文化論」を新設
 教育課程の見直しにより、「子どもの諸問題と教育相談」を新設
 教育課程の見直しにより、「現代社会」を新設
 教育課程の見直しにより、「民俗環境論」の開講期を「1前・後」から「1後」に変更
 教育課程の見直しと担当教員の身分変更により、「共生社会総論」の教員等の配置を「教授6」「准教授3」「講師1」「助教2」から「教授10」「助教2」に変更
 公認心理師法施行規則に従い、「精神医学」の科目名称を「精神疾患とその治療」に変更
 教育課程の見直しにより、「保健医療サービス」の開講期を「2前」から「2後」に変更
 教育課程の見直しにより、「こども学」の開講期を「2前」から「2後」に変更
 担当教員昇任により、「心理学概論」の教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
 教育課程の見直しにより、「心理学研究法Ⅰ」の科目名称を「心理学研究法」に、担当教員の身分変更とカリキュラム充実による担当教員追加のため教員等の配置を「准教授1」から「教授1」・「兼1」に変更
 担当教員身分変更により、「心理学統計法」の教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更
 公認心理師法施行規則に従い、「認知心理学」の科目名称を「知覚・認知心理学」に、教育課程の見直しにより、配当年次を「2前」から「1前」に変更
 公認心理師法施行規則に従い、「神経心理学」の科目名称を「神経・生理心理学」に変更
 公認心理師法施行規則に従い、「発達心理学概論」の科目名称を「発達心理学」に変更
 公認心理師法施行規則に従い、「教育心理学」の科目名称を「教育・学校心理学」に変更
 公認心理師法施行規則に従い、「社会心理学」の科目名称を「社会・集団・家族心理学」に、担当教員の身分変更とカリキュラム充実による担当教員追加のため、教員等の配置を「准教授1」から「教授1」・「兼1」に変更
 担当教員の身分変更により、「対人関係論」の教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更
 公認心理師法施行規則に従い、「犯罪心理学」の科目名称を「司法・犯罪心理学」に変更
 公認心理師法施行規則に従い、「健康心理学」の科目名称を「健康・医療心理学」に変更
 公認心理師法施行規則に従い、「人格心理学」の科目名称を「感情・人格心理学」に変更
 担当教員昇任により、「福祉心理学」の教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
 公認心理師法施行規則に従い、「心理療法学」の科目区分を「心理関連科目」から「公認心理師」に、科目名称を「心理学的支援法」に変更
 公認心理師法施行規則に従い、「障害者・障害児心理学」を新設
 公認心理師法施行規則に従い、「学習・言語心理学」を新設
 専任教員採用により、「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」の教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更
 教育課程の見直しにより、「福祉行財政と福祉計画」の開講期を「2後」から「3後」に変更
 教育課程の見直しにより、「社会福祉運営管理論」の開講期を「2休」から「3休」に変更
 教育課程の見直しにより、「心理学研究法Ⅱ」の科目名称を「心理学統計法実践」に変更、担当教員の身分変更により教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更
 公認心理師法施行規則に従い、「心理学基礎実験実習」の科目名称を「心理学実験」に、担当教員の昇任と身分変更により、教員等の配置を「准教授1」・「講師1」から「教授1」・「兼1」に変更
 公認心理師法施行規則に従い、「心理検査実習」の科目名称を「心理的アセスメント」に、担当教員昇任により、教員等の配置を「教授1」・「准教授1」から「教授2」に変更
 公認心理師法施行規則に従い、「心理面接実習」の科目名称を「心理演習」に、教育課程の見直しにより配当年次を「3後」から「3前」に変更
 公認心理師法施行規則に従い、「心理実践実習」の科目名称を「心理実習」に、教育課程の見直しにより教員等の配置を「教授2」・「准教授2」から「教授2」に変更
 公認心理師法施行規則に従い、「心理実践職能論」の科目名称を「公認心理師の職責」に、教育課程の見直しにより配当年次を「3後」から「2後」に、担当教員昇任により教員等の配置を「講師1」から「教授1」に変更
 教育課程の見直しにより、「社会福祉援助技術演習C」の教員等の配置を「助教1・兼1」から「助教2」に変更
 教育課程の見直しにより、「社会福祉援助技術演習D」の教員等の配置を「助教2」から「助教1・兼1」に変更
 担当教員昇任により、「専門演習(集団心理学)Ⅰ」の教員等の配置を「講師1」から「教授1」に変更
 担当教員昇任により、「専門演習(集団心理学)Ⅱ」の教員等の配置を「講師1」から「教授1」に変更
 担当教員昇任により、「卒業研究(集団心理学)Ⅰ」の教員等の配置を「講師1」から「教授1」に変更
 担当教員昇任により、「卒業研究(集団心理学)Ⅱ」の教員等の配置を「講師1」から「教授1」に変更

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
13 科目	271 科目	0 科目	284 科目	13 科目 [0]	262 科目 [△9]	0 科目 [0]	275 科目 [△9]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	ECA(Cinema)Ⅲ	1	2前	一般	選択	教育課程の見直しによる廃止。
2	日本語3(調査・発表)A	1	1前	一般	選択	教育課程の見直しによる廃止。
3	日本語3(調査・発表)B	1	1後	一般	選択	教育課程の見直しによる廃止。
4	日本語3(ビジネス日本語)A	1	1前	一般	選択	教育課程の見直しによる廃止。
5	日本語3(ビジネス日本語)B	1	1後	一般	選択	教育課程の見直しによる廃止。
6	日本語3(小説で学ぶ)	1	1後	一般	選択	教育課程の見直しによる廃止。
7	日本語3(ニュースで学ぶ)	1	1前	一般	選択	教育課程の見直しによる廃止。
8	日本語3(ドラマで学ぶ)	1	1後	一般	選択	教育課程の見直しによる廃止。
9	日本語3(創作で学ぶ)	1	1前	一般	選択	教育課程の見直しによる廃止。
10	演奏形式とその音楽	4	1後	一般	選択	教育課程の見直しによる廃止。
11	ヘルス・プロモーション	2	1後	一般	選択	教育課程の見直しによる廃止。
12	健康と社会	2	2前	一般	選択	教育課程の見直しによる廃止。
13	行動分析学	2	2前	一般	選択	公認心理師施行規則が公表されたことに伴う、教育課程の見直しによる廃止。
14	生涯発達心理学	2	2後	一般	選択	公認心理師施行規則が公表されたことに伴う、教育課程の見直しによる廃止。
15	家族心理学	2	2後	一般	選択	公認心理師施行規則が公表されたことに伴う、教育課程の見直しによる廃止。
16	コミュニティ心理学	2	2後	一般	選択	公認心理師施行規則が公表されたことに伴う、教育課程の見直しによる廃止。
17	集団心理学	2	2後	一般	選択	公認心理師施行規則が公表されたことに伴う、教育課程の見直しによる廃止。
18	非行の心理	2	3前	一般	選択	公認心理師施行規則が公表されたことに伴う、教育課程の見直しによる廃止。
19	高齢者臨床心理学	2	2後	一般	選択	公認心理師施行規則が公表されたことに伴う、教育課程の見直しによる廃止。
20	経済学研究	2	3前	一般	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
21	企業財務論研究	2	3後	一般	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
22	まちづくり論研究	2	3前	一般	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
23	地域文化論	2	3前	一般	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
24	欧米文化学特論	2	4前	一般	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
25	日本思想特論	2	4後	一般	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
26	日本文化学研究	4	4前	一般	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
27	アメリカ文化学研究A	4	4前	一般	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。

28	ヨーロッパ文化学研究B	4	4後	一般	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
29	キリスト教文化学研究A	4	4前	一般	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
30	児童教育学特論	4	4前	一般	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
31	児童学特論	4	4後	一般	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
32	高齢者福祉特論	4	4前	一般	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
33	児童福祉特論	4	4後	一般	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
34	発達心理学特論	4	4前	一般	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

●教育課程の見直しにより、下記12科目を廃止とした。 「ECA(Cinema)Ⅲ」「日本語3(調査・発表)A」「日本語3(調査・発表)B」「日本語3(ビジネス日本語)A」「日本語3(ビジネス日本語)B」「日本語3(小説で学ぶ)」「日本語3(ニュースで学ぶ)」「日本語3(ドラマで学ぶ)」「日本語3(創作で学ぶ)」「演奏形式とその音楽」「ヘルス・プロモーション」「健康と社会」 ●平成29年9月公認心理師施行規則が公表されたことに伴い「心理関連科目」の教育課程見直しを行ったため、下記7科目を廃止とした。 「行動分析学」「生涯発達心理学」「家族心理学」「コミュニティ心理学」「集団心理学」「非行の心理」「高齢者臨床心理学」 ●大学院科目受講に係る新制度の導入により、大学院への接続を念頭に置いた発展的な科目群である「総合科目群」が統合された。よって、同科目群開設科目である以下15科目が廃止とした。 「経済学研究」「企業財務論研究」「まちづくり論研究」「地域文化論」「欧米文化学特論」「日本思想特論」「日本文化学研究」「アメリカ文化学研究A」「ヨーロッパ文化学研究B」「キリスト教文化学研究A」「児童教育学特論」「児童学特論」「高齢者福祉特論」「児童福祉特論」「発達心理学特論」 以上の変更については、学生要覧、ガイダンス、個別履修指導で学生に周知した。
--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	=	34	=	11.97%
設置時の計画の授業科目数の計(A)		284		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	借用面積：7,042㎡ 借用期間：20年			
	校 舎 敷 地	34,076 ㎡	— ㎡	— ㎡	34,076 ㎡				
	運動場用地	26,241 ㎡	— ㎡	— ㎡	26,241 ㎡				
	小 計	60,317 ㎡	— ㎡	— ㎡	60,317 ㎡				
	そ の 他	1,996 ㎡	— ㎡	— ㎡	1,996 ㎡				
	合 計	62,313 ㎡	— ㎡	— ㎡	62,313 ㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	守衛室を校舎に計上のため (30)			
		20,410 20,385 ㎡ (20,385 ㎡)	— ㎡ (— ㎡)	— ㎡ (— ㎡)	20,410 20,385 ㎡ 20,410 (20,385 ㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 平成30年4月演習室を研究室に変更のため (30)		
		28 室	30 34 室	12室	4 室 (補助職員 0 人)	0 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		平成30年3月専任教員2名退職、平成30年4月専任准教授1名を新規採用、准教授1名移動のため (30)		
		心理福祉学部 心理福祉学科			14 16 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	学部単位での特定不能なため、大学全体の数	
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル					
		冊	種	〔うち外国書〕					
	心理福祉学部 心理福祉学科	321,197 [65,761] 307,308 [65,694] (310,237 [65,489])	2,845 [2,450] 2,838 [2,455] (2,840 [2,448])	2,400 [2,400] 2,464 [2,427] (2,395 [2,395])	3318 3,205 (3,222)	123 (123)	10 (10)		
計	321,197 [65,761] 307,308 [65,694] (310,237 [65,489])	2,845 [2,450] 2,838 [2,455] (2,840 [2,448])	2,400 [2,400] 2,464 [2,427] (2,395 [2,395])	3318 3,205 (3,222)	123 (123)	10 (10)			
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		2,420 ㎡		318		224,000			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		1,578 ㎡		—					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費には電子ジャーナル・データベースの整備費等を含む。
		教員 1 人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	3,590千円 3,370千円	940千円	1,910千円	
		共 同 研 究 費 等	-千円	-千円	設備購入費	11,600千円 6,760千円	1,870千円	9,000千円	
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	平成29年度実績額による (30)。	
		1,310千円	1,030千円	1,050千円	1,070千円	- 千円	- 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、雑収入他					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学 学 校 名 称	聖 学 院 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
心理福祉学部	年	人	年次 人	人		倍			
心理福祉学科	4	120	3年次 20	520	学士 (心理福祉 学)	1.09	平成30年度	埼玉県上尾市戸崎1番1号	
人文学部						0.70			
児童学科	4	100	－	400	学士 (児童学)	0.70	平成30年度	同上	
政治経済学部						1.11			
政治経済学科	4	160	－	640	学士 (政治経済 学)	1.11	昭和63年度	同上	
コミュニティ政策学科	4	－	－	－	学士(コミュ ニティ政策 学)	－	平成12年度	同上	平成25年より学生 募集停止
人文学部						0.90			
欧米文化学科	4	80	－	320	学士(欧米文 化学)	0.73	平成4年度	同上	
日本文化学科	4	80	－	320	学士(日本文 化学)	1.07	平成10年度	同上	
人間福祉学部									
児童学科	4	－	－	－	学士(児童 学)	－	平成16年度	同上	平成29年より学生 募集停止
こども心理学科	4	－	－	－	学士(心理・ 健康保健学)	－	平成24年度	同上	平成29年より学生 募集停止
人間福祉学科	4	－	－	－	学士(人間福 祉学)	－	平成16年度	同上	平成29年より学生 募集停止
政治政策学研究科									
政治政策学専攻	2	10	－	20	修士(政治 学)	1.3	平成8年度	同上	
アメリカ・ヨーロッパ文化学 研究科									
アメリカ・ヨーロッパ文化学 専攻(博士前期課程)	2	5	－	10	修士(アメリカ ・ヨーロッパ文化学)	0.3	平成11年度	同上	
アメリカ・ヨーロッパ文化学 専攻(博士後期課程)	3	5	－	15	博士(学術)	0.4	平成13年度	同上	
人間福祉学研究科									
人間福祉学専攻	2	10	－	20	修士(人間福 祉学)	0.15	平成18年度	同上	
(注意) 課程認定等により専攻・コースに入学定員を定めている場合は、専攻・コース別にも記入してください。(履修上の区分として専攻・コースを設けている場合は記入は不要です。)									
(注意) 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。									

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「―」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

個人情報を含む情報につき、HPでの公表は割愛。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (30年4月)	・ 完成年次前に、定員規定に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 ・ 聖学院大学人文学部欧米文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	・ 本学教員の定年年齢は、平成28年度に70歳から65歳に引き下げられたが、66歳から70歳までの期間は昇給なしの有期雇用の形態で引き続き勤務できることになっている。このことを前提とすると、完成年度までに65歳の定年年齢をむかえる常勤教員は3名であり、3名は有期雇用の形態で引き続き教育と研究の任にあたることになる。 ・ 高校訪問やオープンキャンパス、複数媒体を使用した広報活動等において学生確保に向けた取り組みを改善、強化したこと、またここ2年間に「グローバルキャンプ」という産学共同事業による高大接続プログラムを実施したことなどの結果、人文学部欧米文化学科の平成30年度入学定員超過率は1.06倍となり、平均入学定員超過率も0.73倍と設置届出時より改善した。継続して定員充足に向け努める。	・ 左記定年超過の3名が70歳に達するまでの間に若手教員の採用を進めて教員組織の恒常性を保つべく努力するとともに、既存教員については教育実績を積み、研究活動の活性化を図り、その経験や業績を踏まえて職位の昇格等を検討する。
設置計画履行状況 調 査 時 (31年2月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (32年2月)			

設置計画履行状況 調 査 時 (33年 2 月)		改善意見		未履行	
設置計画履行状況 調 査 時 (34年 2 月)		改善意見		履行済	
設置計画履行状況 調 査 時 (35年 2 月)		改善意見		未履行	
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年 2 月)		改善意見		未履行	
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年 2 月)		改善意見		履行済	

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常 2 月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<心理福祉学部 心理福祉学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
①取得可能資格 社会福祉士(受験資格)、精神保健福祉士(受験資格)、 司書、社会教育主事	①左記の資格に加え、平成29年9月15日に施行された 公認心理師法に基づき、公認心理師の受験資格を得る ために必要な科目を開講した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況
全学的なFD・SD委員会を設置している。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)
FD・SD委員会は、心理福祉学科を含めて教員6人、職員2人で構成し、月に1回開催している。

c 委員会の審議事項等
予算案、年間の活動計画、個別事業などの検討

② 実施状況

a 実施内容

- 1) アクティブ・ラーニングの研修会
- 2) シラバス執筆マニュアルの作成
- 3) シラバスチェック
- 4) News Letterの発行
- 5) 非常勤教員FD研修会 等

b 実施方法
研修会の開催、ニュースの発行など

c 開催状況(教員の参加状況含む)
1)は10月、3)は来年2月、4)は11月、5)は来年2月に、それぞれ実施する予定である。2)については5月以降に行う。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
1)～5)の実施を踏まえ、授業の内容、方法、評価方法などを改善する予定である。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期
学期末に授業評価アンケートを実施する

b 教員や学生への公開状況、方法等
学内システムで教員ごとに担当科目のアンケート結果を公開し、学生からの評価及び今後の課題(改善策)について当該教員が応答し、「授業アンケートに答えて」という冊子を作成し、学生に公開する。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

心理福祉学部は、現代人の心の問題と現代社会の福祉的課題に関する専門的な知識を修得させ、プロテスタント・キリスト教の精神に基づく本学の理念「神を仰ぎ、人に仕う」のより具体的な目標である「良き隣人となる」人材の育成をめざす学部として設置された。心理福祉学部心理福祉学科においては、現代人の心理および現代社会における福祉的課題に関する専門的な知識を修得させ、現代社会に生きる人びと、特に日常生活において身体的・精神的な支援を必要とする人びとの心理・社会的課題を理解し、共感し、支援する能力を修得させる。そして、そのことを通して、「良き隣人」として福祉社会の実現に寄与する人材の養成、さらには心理学および福祉学の専門知識をもって総合的に支援する専門職を養成することが心理福祉学科の目的である。

これらの目的を達成するために、入学生確保においては、大学案内、ホームページ、オープンキャンパス、高校訪問などを通して本学の教育理念と学科の教育内容の広報に努めた。その結果、入学定員120名に対して264名の志願者を得、入学者は131名であった。次年度も十分な入学志願者数を得られるようにさらに質の高い広報活動を展開する。

また 新入生オリエンテーションにおいては入学前準備学習を開催し、eラーニングを取り入れた学習指導、友人作り、学生生活への移行準備などの機会とし、3月下旬から授業開始前のオリエンテーションにおいても学生生活全般、大学生としての自覚、教育課程とカリキュラム、履修の仕組みなどを説明したほか、初年次教育、学科運営においても充実した取り組みを行い、心理福祉学科開設後の1カ月はきわめて順調に推移したと考えられる。今後はこの趨勢を維持しつつ設置の趣旨・目的を達成すべく鋭意努力していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成26年5月1日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開済

③ 認証評価を受ける計画

・平成33年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無

(有 ・ 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期

(平成30年 9月 30日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。